

No.48

2006年6月

oaca

明治生命館 特別見学会・説明会

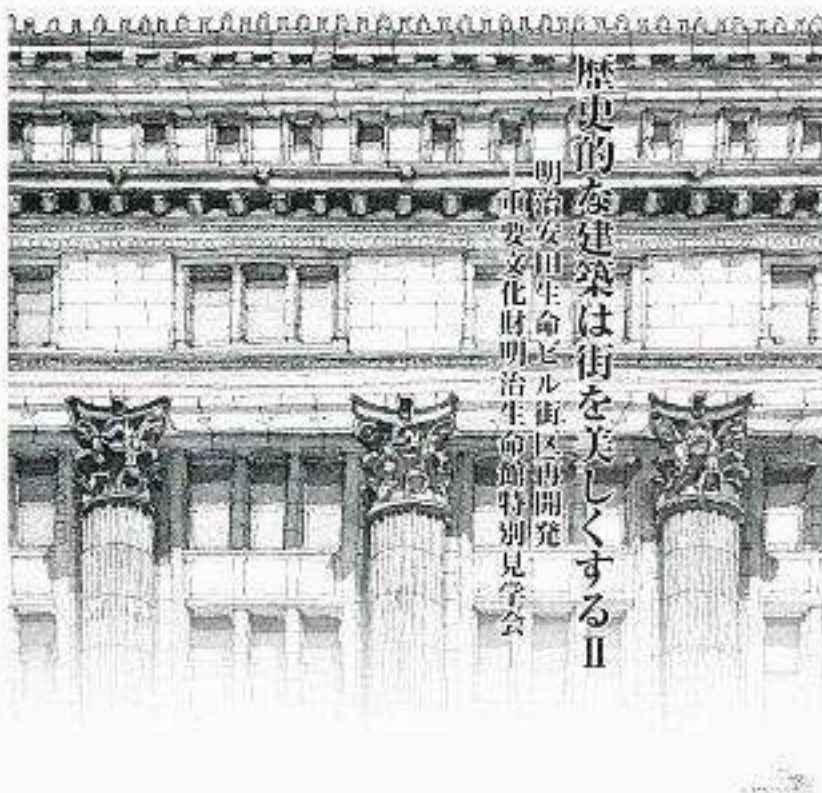


CONTENTS

明治生命館 特別見学会・説明会	2~3
第15回AACA賞・第4回芦原義信賞 入賞作品展・講演会	4~5
第16回AACA賞・第5回芦原義信賞 募集要項	6
文化事業委員会 活動報告	7
トピックス	8

社 団 法 人
日 本 建 築 美 術 工 芸 協 会

aaca特別見学会



歴史的な建築は街を美しくするⅡ

明治安田生命ビル街区再開発
重要文化財 明治生命館 特別見学会

歴史的な建築は街を美しくするⅡ

明治安田生命ビル街区再開発
重要文化財 明治生命館 特別見学会

- 開催日 2006年3月21日 火曜日(祝)
- 会場 東京都千代田区丸の内 2-1-1
丸の内MYPLAZA 明治生命館
- 主催 社団法人 日本建築美術工芸協会
- 後援 文化庁
社団法人 日本建築学会
明治安田生命保険相互会社
株式会社 竹中工務店
- 講師 桐敷 真次郎氏
東京都立大学名誉教授
加部 佳治氏
株式会社 竹中工務店 設計部課長代理
中嶋 徹氏
株式会社 竹中工務店 作業所主任
- 司会 髭坂 徹氏
株式会社 三菱地所設計
建築設計部副部長

aaca

主催：社団法人 日本建築美術工芸協会
後援：文化庁、社団法人 日本建築学会、明治安田生命保険相互会社、株式会社 竹中工務店

明治生命館の歩み

昭和3年(1928) 建築顧問の曾根達造の提案により指名設計コンペが実施され、8名の著名建築家の案から東京美術学校(現東京芸術大学)教授の岡田信一郎案が採用され同5年に着工、しかし建設中に岡田が病により急逝、当初から設計に参画していた実弟の岡田捷五郎が後任に就き 同9年3月 竣工を迎えました。

その後大戦中は金属回収令により意匠的に優れた装飾金属製品の多くが供出させられ、又戦後建物を米国極東空軍司令部として接收され 対日理事会の会場として使用されるなど 昭和31年によく返還されるまで数奇な運命をたどりました。その後復旧工事が実施され戦後の明治生命館として新しい時代の幕を開けます。

その後も 時代の要請に応え建物の改修・修理、設備など更新が行われましたが 特筆すべきは 創建当時のデザインを大切に守り続けてきたことです。往時の姿を今に伝えるこの建物は 平成9年 国の重要文化財に指定されました。平成13年 明治安田生命ビルの着工に伴い 建物を積極的に活用しながら保存してゆくという手法をにもとづいてリニューアル工事を進め、新装なった明治生命館は 平成16年竣工の30階建ての明治安田生命ビルと融合して歴史の香りと現代の息吹きが調和した街区、丸の内 MY PLAZAを形成しています。

(重要文化財 明治生命館 見学のご案内 より要約)

講演要約

桐敷 私に与えられたテーマは「歴史的な建築は街を美しくする。」ということでもあります。これは簡単なようでなかなか難しい問題でありまして、みなさんの中にも はたして歴史的な建築は街を美しくする



のであろうか、という疑問を感じている方もおられるでしょう。古くさい建築は全部壊して新しくしたほうが よろしいという方もおられます。そこでこのような問題を解きほぐしてみたいと思います。

我々が生きてきた20世紀は、実は戦火などにより都市美を破壊した世紀なのです。ですから都市美が失われたと感じる人が多いのです。一方で反対に街が綺麗になったと思う人もいます。皆さんの中には海外旅行の経験のある方も居られるでしょうが ヨーロッパに行かれると街は昔のまま美しく残っています。

今日は ヨーロッパはどうして歴史的な風貌を留めたまま残っているのか、一方アメリカ合衆国や東洋の諸国はすべて環境を破壊する。なぜか?

美しいとか醜いとか懐かしいとはどのようなことを意味しているのか。

というこの3点をお話したいと思います。

(以下 別冊に掲載)

加 部 今回の改修では現状を維持すべき部分と可能な限り保存すべき部分を含めて、明治生命館にとってなくてはならないところ、変えてはいけなところを指定して残し方を探りました。70年前のものを現代の技術で修復したり補修したりすることを探ってきました。一方、この建物を使い続けるために、変えるべきところ改変すべきところを設定してその変え方を探ってきました。例えば、3階から8階の事務室は明治生命館を使い続けるために機能を向上するために変えるべきところ。また1・2階の事務室は 広くいろいろな方に使っていただくためのラウンジ空間として変えるべきところとして改修を行いました。いずれの場合も既存の建物の歴史的な意思を尊重して、新しい機能や意匠は多少追加していくというかたちにとどめまして、どちらかというと むしろ変えるべきところのなかで残すべきところはどこかを採すという作業がほとんどなので、設計も大半はその作業に費やしました。



少し具体的に話していきますと、まず、変えてはいけなところ。西側のお堀に面した外観を含めた外壁ですが、特に裏側の東側のほうには昭和43年に新館が建築されたときに破壊されてしまっています。

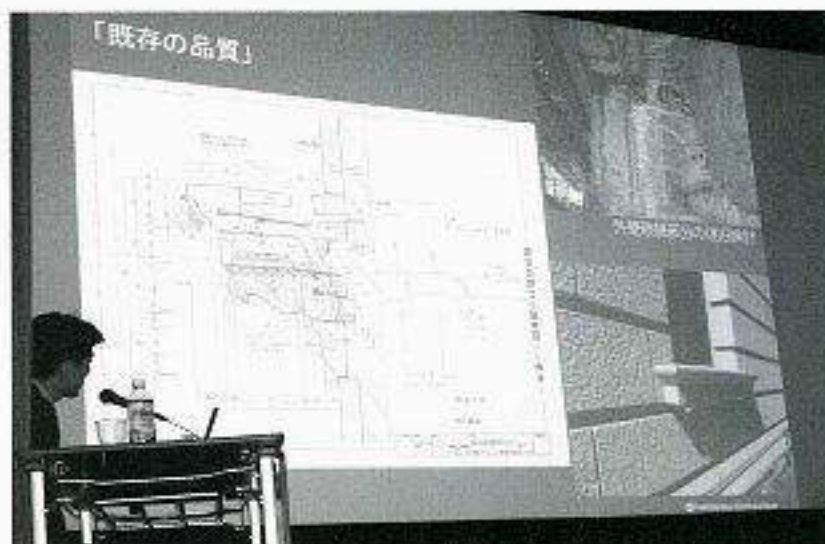
今回は、写真などをもとに専門家の協力を得て、復元図を作成しました。一方で既存の石の彫刻も石膏で型取りを行ない雛型にして中国で再生し創建当時の姿に復刻しました。また外壁のサッシは開閉が不可能になっていましたが、調査や試行錯誤を行って部材が劣化しているのではなく、その後のメンテナンスに問題があることが判り、今回はすべて外して工場でも多少今日的製法を付け加えながら再生させ 70年前のサッシをそのまま使い続けることにしました。

二つ目は営業室です。 変えてはいけな大事な空間を守るためにシャンデリアとか 柱などの耐震対策を行い、一方で70年前から営業室として使用されまた今後も使い続けるために カウンターについては更新を行いました。 什器についても、この大理石の空間の雰囲気を変えないようにしました。

(以下 別冊に掲載)



中 嶋 明治生命館で実施しました復元や保存の具体的な技術の内容、作業者の生の情報をお伝えしたいと思います。最初に東側の外壁の復元についてですが、昭和43年に竣工した新館との接続部分で当初の外装材が取り外されていた部分の復元工事しました。この復元をするときに、その周辺の部分について詳細な実測調査を行いますと、スパン寸法の違いによって出てくる調整とか装飾の割付によって出てくる調整というものについて、全体から部分を割り付けていく手法を変則的かつ巧みに組み合わせられていて、例えば、7階の軒の部分ですが、微妙にスパンの調整をしながら全体を落としつけるということがなされている事が、実測と分析を通じて今回判りました。それから、この建物の既存の部分ですが、それについて断面を確認しましたところ石材が非常に丁寧に付けられていて、現在でも十分な強度を発揮しているということが判りました。これが既存部分の断面図で、赤で示されている部分というのが石材を止めている19ミリの鋼材で丁寧に石などが取り付けられています。こちらの写真の部分を確認しましたところ、空隙や腐食もなく、充分性能を発揮できる状況にあるということが確認できました。



(途中別冊に掲載)

最後に、ご案内の中に日本の伝統技術が急速に失われているという記載がありますが、伝統技術に対する感想を一言述べさせていただきますと、10年くらい近代建築の保存改修の工事を担当させていただいていますが、実際やっていると、昔の建物は手間隙がかかっていて素晴らしいな、ということをおっしゃるかたがおられました。実際確かにそうなのですが、改めて建物の詳細な改修の施工を実施していると、たしかによくできている一方で 近代建築に関して言うと、創建の当時は人の手間や自然の材料が非常に安くて工業製品（セメントや鉄）が非常に高い時代で現代とは全く反対の状態になっているということで、その時代ごとにベストな選択がされているにすぎないのではないかなということを感じました。それぞれに良し悪しがあるということもあわせて実感することがありました。(終り)

第15回AACCA賞・第4回芦原義信賞 入賞作品パネル展示並びに受賞講演会

aaca

日本建築美術工芸協会
2006年6月-4

第15回AACCA賞・第4回芦原義信賞の入賞作品パネル展示が 2月13日~18日まで大手町カフェ（東京都千代田区大手町・大手町ビル）にて行われました。 また初日の13日には受賞者による講演会と交流懇親会が行われました。

作品は 多くのビジネスマン・ウーマンが集まるカフェに 5日間にわたり展示され協会活動が広くPRされました。講演会&交流懇親会は 各受賞者が作品のパブリックに対する多様な角度からの取り組みと 苦心談が語られ受賞された賞と作品のマッチングが 改めて確認され各賞の品格が高まった aacaらしい「タベ」となりました。

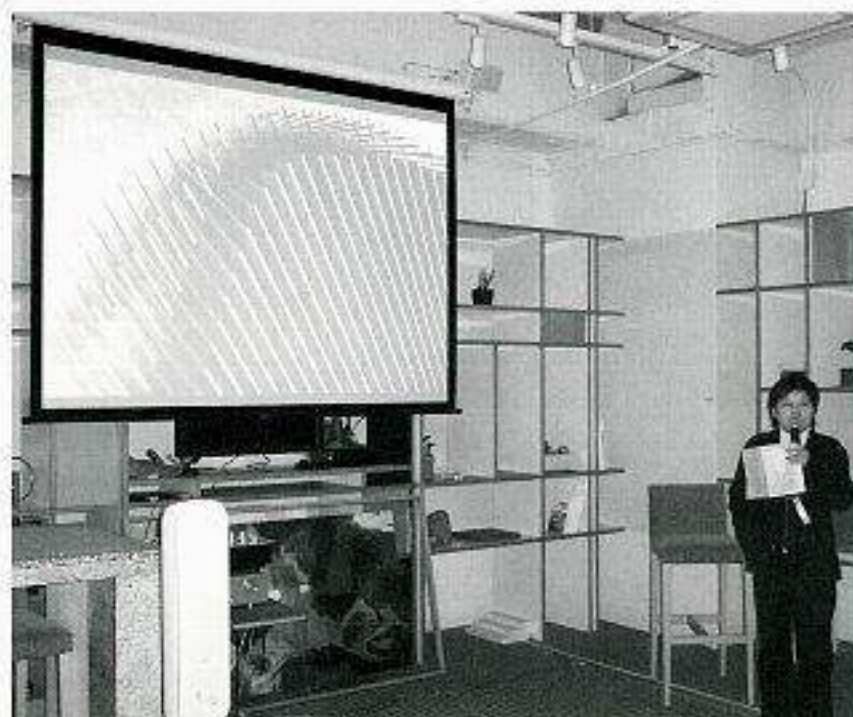
協会としては初めての企画でしたが 受賞者と参加者が作品を通して交流と懇親が出来た意義ある集いとなりました。また人工光のみで育っている林の中で ユビキタスの金魚が泳ぎ 大手町ビルのすべての生ごみが循環されているミステリアスなカフェで開かれたことは意義深さとともに楽しさを演出しました。



AACA賞

INFLUENCE ー空間と人に作用する家具ー

講演者 藤江和子氏



第15回AACCA賞・第4回芦原義信賞
入賞作品パネル展示並びに受賞講演会

aaca

日本建築美術工芸協会
2006年6月-5

AACA特別賞

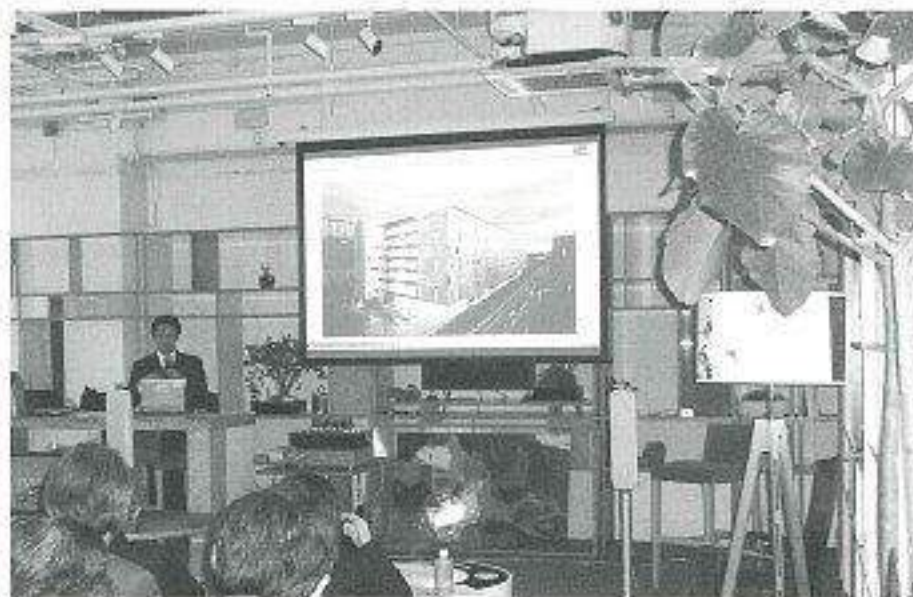
京都迎賓館

講演者 佐藤義信氏 [㈱日建設計]



竹中工務店東京本店新社屋

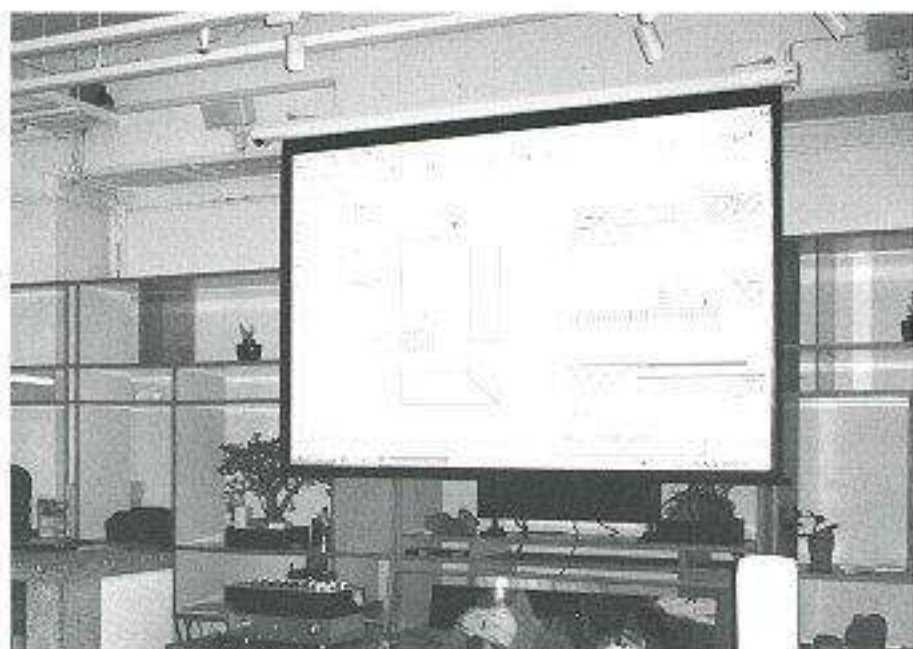
講演者：川北 英・菅 順二氏 [㈱竹中工務店]



芦原義信賞

リーテム東京工場

講演者 坂牛 卓氏+O.F.D.A



第16回AACCA賞・第5回芦原義信賞 募集要項



日本建築美術工芸協会
2006年6月-6

AACCA賞(社団法人日本建築美術工芸協会賞)は、建築、美術、工芸、その他多くのデザイン分野の総合的、協調的な作品、或いは作品群を表彰する制度として着実に成果を上げて来ました。その対象分野は、都市、地域、ランドスケープ、パブリック、建築、工芸、絵画、彫刻、環境美術、グラフィック、ディスプレイ、インテリア等々、多くの芸術・アート・デザイン領域を含みます。又、新しい芸術的環境を創造するだけでなく、修景や修復、復元という様な制作行為も益々重要な領域になりましょう。本会はそれらの様々なデザイン芸術分野の創造的環境形成、そして何よりも異なる分野が協力し、複合し、融合して新しい文化環境形成を目指しており、その様な作品を賞の対象としています。

芦原義信賞は、本会の設立者で日本の街並み形成、芸術的環境形成に多大な実績を残された文化勲章受章者、建築家・芦原義信先生の業績を記念して創設された新人賞です。新しい分野へ挑戦する将来性のある作家を表彰したいと考えております。

各受賞者には、賞状と賞牌をお贈りします。協会会員はもちろん広い分野から多くの応募、そして推薦を期待しております。

○応募規定

1. 本賞の対象となる作品は本会の設立理念に沿う作品であり、建築、美術、工芸、ランドスケープなど様々な分野が協力し、一体となって創出された文化的資産、並びに永年親しまれた景観の維持と保存を果たした歴史的資産とします。単体、複合、地域を問いません。
2. 応募者はAACCA会員とします。また応募時に入会手続を終了している者を含みます。
3. 応募者は個人、グループと団体、いずれも可とします。

○選考委員会(敬称略)

委 員	上山良子	ランドスケープアーキテクト・上山良子ランドスケープデザイン研究所所長
//	小倉善明	建築家
//	可児才介	建築家・大成建設㈱常務設計本部長
//	川村純一	建築家・アーキテクトファイブ代表
//	澄川喜一	彫刻家
//	村井 修	写真家
ゲスト選考委員	伊藤隆道	彫刻家
//	中村 勉	建築家・中村勉総合計画事務所所長

○受賞作品の決定

応募作品の中から第一次審査を経て入賞候補作品を選考、複数の選考委員に依る現地審査を実施、入選作品を決定し受賞作品を公表します。

○受賞作品の公表

受賞作品の公表は各賞受賞者に通知すると共に、日刊建設通信新聞社並びに日刊建設工業新聞社に発表、主要な報道機関へ通知します。また協会広報誌、協会ホームページに掲載します。表彰式は平成18年12月に開催される協会設立記念会に先がけて行います。

○応募作品の提出資料

1. 応募申込書
 2. 作品写真及び資料(B1パネル1枚に表現)
 3. 補充説明に必要とされる音・映像等の提出は認
- (注) 応募作品は原則として返却いたしません。希望される場合は返却費用の負担をいただきます。

○応募期間

平成18年6月1日(木)より同9月29日(金)まで。尚送付の場合は最終日の消印有効です。

○応募登録料

1点につき 10,000円

○応募先

(社)日本建築美術工芸協会 AACCA賞・芦原義信賞事務局

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館6F TEL 03-3457-7998 FAX 03-3457-1598

AACA交流講演会 (会場提供 ㈱コトブキ コトブキ D.I. Center)

● 17年度 活動報告 参加者

- | | | |
|---------------|--|------|
| 第8回 (4月13日) | 都市再生とデザイン -2003年ものから次のビックプロジェクトへ-
㈱日本設計 副社長 六鹿正治氏 | 107名 |
| 第9回 (6月22日) | 立体シュミレーション開発と共同環境デザイン
-九州大学新キャンパス&地下鉄3号線トータルデザイナー-
九州大学 芸術工学部 教授 佐藤 優氏 | 100名 |
| 第10回 (9月14日) | 森ビルの考える街のランドデザイン
森ビル㈱ 常務取締役 (設計本部) 本 耕一氏 | 118名 |
| 第11回 (12月19日) | 「欧州景観散歩」
㈱山下設計 社長 横山孝治氏、本社企画本部 部長 坂田保司氏
設計企画監理本部第三設計部 主管 鷹箸寿昭氏 | 115名 |

● 18年度 活動報告・計画 参加者

- | | | |
|--------------|--|------|
| 第12回 (4月11日) | 京都迎賓館 -継承される日本文化と技能-
㈱日建設計 社長 中村光男氏 理事・技師長 佐藤義信氏 | 121名 |
| 第13回 (6月28日) | ワークスペースのユニバーサルデザインについて
(社)日本ファシリテーツ 外推進協会 エバ-ルデザイン研究部会長 似内志朗氏 | |
| 第14回 (未定) | 未定
プランテック総合計画 代表 大江 匡氏 | |

AACA建築と文化を語る夕べ (会場提供 ㈱ユニオン 東京ショールーム)

● 17年度 活動報告 参加者

- | | | |
|--------------|--|-----|
| 第8回 (7月26日) | 「組織での設計プロセス」
㈱日建設計 設計部門設計室 主幹 中村耕史氏 | 55名 |
| 第9回 (10月17日) | 「建築の臨界点」
㈱佐藤総合計画 設計部長 関野宏行氏 | 66名 |
| 第10回 (2月20日) | 「コラボレーションが生み出す未来の街」
シーザー・ペリ&アソシエイツジャパン㈱
並びに光井純&アソシエーツ 代表 光井 純氏 | 72名 |

● 18年度 活動報告・計画 参加者

- | | | |
|---------------|--|--|
| 第11回 (5月25日) | 「まちづくりとアート」
三菱地所㈱ ビル事業本部 理事 遊佐謙太郎氏 | |
| 第12回 (7月20日) | 未定
土岐新建築総合計画 代表 土岐 新氏 | |
| 第13回 (10月10日) | 未定
サンケイビル 松田明弘氏 & シーラカンスK&H 社長 工藤和美氏 | |
| 第14回 (2月13日) | 「大崎アート計画」
㈱大林組 設計本部副本部長 川瀬俊二氏、設計部 上原 耕氏 | |

AACA見学会 実施計画

未定 国立新美術館 (東京・港区) 10月 or 11月に予定

芦原義信杯ゴルフコンペ 開催結果及び予定 参加者

- | | | |
|------------|--------------|-----|
| 春季 (4月28日) | 富士国際カントリークラブ | 27名 |
| 秋季 (未定) | 未定 | |

aacaかんさい 大手町コラボレーション

「企画展 & ギャラリートーク in Tokyo」が開かれました。

テーマ：「風土と創造」 開催場所：大手町カフェ

◎ 作品展示：平成18年4月25日（火）～28日（金） 11:00～17:00

◎ 立礼茶会 平成18年4月25日（火） 11:00～17:00

◎ ギャラリートーク： 同上 17:00～18:20

司会進行 佐野吉彦氏（株式会社安井建築設計事務所社長、aaca理事）

講演 aacaかんさい 会員 余 須 明 氏（ステンドグラス）
 中 田 明 氏（中田林業 北山杉）
 寄 神 宗 美 氏（現代陶芸）
 前 野 正 司 氏（漆工・漆木工）

新入会員（2006年1月～2006年5月 入会・敬称略）

正会員

下青木義紀 〒107-8448	港区元赤坂1-5-17	Tel.03-3403-6161	株式会社松田平田設計
大益 牧雄 〒627-0102	京丹後市弥生町味土野	Tel.0772-66-0221	大益牧雄工房
杉本 充 〒488-0083	尾張旭市旭ヶ丘町旭丘5643-3	Tel.0561-54-8339	
神谷ふじ子 〒063-0031	札幌市西区西野1条8-6-5	Tel.011-667-4027	Ceramic Art Segercone
加藤 俊夫 〒662-0012	西宮市向陽園東山町11-4	Tel.0798-73-4568	
光本 岳士 〒192-0372	八王子市下柏木12-106	Tel.042-676-4330	
片山佳奈子 〒241-0812	横浜市旭区金が谷2-14-8	Tel.045-954-4124	
大田 敬彦 〒553-0006	大阪市福島区吉野5-8-26	Tel.06-6460-1890	(有)カタ・マイクロ・インタープライス
野村 充 〒586-0065	川内長野市南ヶ丘19-5	Tel.0721-63-3780	野村充建築設計事務所
斎藤 正幸 〒104-0033	中央区新川1-15-11小田中ビル	Tel.03-3297-0666	オリエンタルカーペット株式会社東京支店
荒川 晃剛 〒600-8451	下京区石宮通松原下る亀屋町48	Tel.075-354-9250	(有)テクトスタジオ

法人会員

瀬プレス 〒141-0031	代表取締役 西崎哲弘	窓口 専務取締役 木崎光章
保土谷建材工業㈱ 〒212-8588	品川区西五反田7-24-4	Tel.03-5759-3577
東京電力㈱ 〒100-8560	取締役社長 吉田輝信	窓口 営業部 芳賀弘美
	川崎市幸区堀川町66-2	Tel.044-549-6670
	役員 販売営業本部副本部長 片倉百樹	窓口 都市1部 一ツツヨウグループ マネージャー 尾方康純
	千代田区内幸町1-1-3	Tel.03-4261-1111代

会員投稿記事 募集中

会員の皆様の

作品紹介、活動報告、
 展覧会、個展等のご案内
 企業の広告、出品展等のご案内
 を 会報に掲載いたします。
 詳しくは事務局にご相談ください。

会報について

会報へのご意見 ご希望を
 お寄せください。（広報委員会）

発 行

社団法人 日本建築美術工芸協会

〒108-0014

東京都港区芝5-26-20 建築会館6階

Tel 03-3457-7998

Fax 03-3457-1598

Url http://www.aacajp.com

E-mail info@aacajp.com

編 集

広報委員会

石田 真人 垣内 泰三 北村 孝昭

瀬川 秀之 竹生田 正 中村 弘子

長谷川 亨 本田 宣之 山崎 輝子

事務局

伊藤 留雄



制作協力

美和野印刷株式会社